

# 新宅ゼミ募集要項 2021

<http://merc.e.u-tokyo.ac.jp/shintaku/seminar/guidance2021.pdf>

2021年4月4日

- ガイダンス 4月5日(月) 4限(14:55~16:40)
- 開講: 4月19日よりオンラインで実施する予定。時間は、14:55~19:00頃までで、4~5時限目を使う。
  - ◇ 駒場の講義の再履修で月曜日同時間帯の科目を履修する学生は応募できない。

## ■ ゼミ計画 2021

|     | 夏学期 S2             | 夏休み        | 秋学期 A1&A2               |
|-----|--------------------|------------|-------------------------|
| 3年  | 国際経営 1&2 の履修が望ましい。 | ゼミ論 (グループ) | 経営戦略1の講義履修は必修。<br>ゼミ論発表 |
| 3・4 | テキストを使ったグループ研究     |            | 研究論文 (日本語、英語)           |
| 4年  | 卒論プロポーザル           | 卒論 (調査など)  | 卒論中間発表、最終発表             |
| 課外  | Zoom 飲み会           | 可能なら国内合宿   | 企業見学?、インゼミ              |

- ゼミで取り上げる本の候補
  - グラント(2008)『グラント現代戦略分析』中央経済社。
  - ジェイ・B・バーニー(2003)『企業戦略論』岡田正大訳。
  - クリステンセン(2001)『イノベーションのジレンマ』翔泳社。
  - 井上達彦. (2014). 『ブラックスワンの経営学 通説をくつがえした世界最優秀ケーススタディ』 日経 BP.
  - オライリー&タッシュマン『両利きの経営』(2019) 東洋経済新報社
- その他
  - 4年生のときに、卒業論文を執筆することがゼミ履修の条件です。
  - ダブルゼミ、大学院進学(特に、卓越プログラム)を希望する者歓迎。
  - 交換留学などで海外に行く場合も、4年生で卒論を書けば、復帰できる。
  - プロアクティブラーニングセミナー(今年度の実施は?)も履修されたい。

## ゼミ生に望むこと

- ◇ 自ら学習すること。本、論文は自分で探す。
- ◇ それでも分からないことは訊く。恥ずかしくない。
- ◇ 体を動かすことを惜しまない。全身を総動員。
- ◇ ゼミでは議論に集中して発言する。ネット検索もほどほどに。
- ◇ 社会的な意識を持つ。社会人としての認識と行動。

## 関連したホームページ

- ・ 新宅 <http://merc.e.u-tokyo.ac.jp/shintaku/>
- ・ ゼミのホームページ 消えてしまいました。
- ・ 卓越プログラム <http://www.student.e.u-tokyo.ac.jp/takuetsu.html>

## 選考のプロセスと方法

### 1 次募集

応募：応募書類は下記の通り。

面接：14日（水）17時頃から一人10分程度、オンラインで実施する。書類選考に合格した面接対象者には14日の昼までにメールで連絡する。下記により提出された書類のメールへの返信で連絡する。書類不合格者には特に連絡しない。

発表：16日（金）15時頃（学部ルール）

### 応募書類

1) 学部共通の申込書類 提出先：教務課 期限：4/12(月) 11時

2) ゼミ独自の次の書類 WordまたはPDF形式のファイル

提出先：新宅 ([shintaku@e.u-tokyo.ac.jp](mailto:shintaku@e.u-tokyo.ac.jp)) にメール添付 期限：4/12(月) 11時

- 3年生：「研究したいテーマ」について2,000字程度。以下の項目を含むように書くこと。
  - ① 「経営戦略」または「国際経営」について、あなたは今までどのような学習をしてきましたか？ その中でとりわけ印象的なものについて、その内容、なぜそれが印象に残ったかについて述べてください。（講義、書籍、論文など）。
  - ② あなたのこれまでの実際の経験で、「経営戦略」または「国際経営」にかかわるものがあれば、その概要とその中であなたが果たしてきた役割、それを通じて考えた経営問題について述べてください。
  - ③ これから2年間のゼミの中で勉強・研究したいテーマについて、その内容、なぜそのテーマに取り組むのか、どのように取り組むのか、その成果をどのように活かしたいか、について述べてください。
- 4年生：「卒業論文のテーマと研究計画」（4,000字程度）  
「どのような問題を取りあげるか」「その問題を取り上げようと思った理由や背景」「その問題に関連してこれまでどんな研究がなされてきたか」「その問題に、自分はどのようにアプローチしようと考えているか」「最終的に論文で何を明らかにしようとするか」などについて言及すると良い。

### 2 次募集

2次募集実施の有無については、1次募集の発表の際、掲示する。

例年は、1次募集で定員まで決定し、2次募集は実施していないことが多い。

以上